

大阪・関西万博「静けさの森」等 視察会のご案内

開催趣旨 第31回リモート配信講座で万博のランドスケープデザインディレクター忽那裕樹様に講演いただく「大阪・関西万博会場のランドスケープデザインと、その後の未来のまちづくり」からさらに学びを得るため、EXPO2025大阪・関西万博 現地視察会を開催します。

開催日時 令和7年9月25日（木） 12:45～17:00（終了時刻は予定）
※東ゲート ミヤクミヤクモニュメント前集合、EXPOサンセットビアテラス解散

申し込みはこちら→ <https://kokc.jp/e/fc5ad93cc6b5e8ad9a3910ed6fea0892/>

講師： 西胤 玲仁 日本樹木医会大阪府支部支部長

視察予定場所 視察1 静けさの森

視察2 ウーマンズパビリオン屋上庭園

視察3 シグネチャーパビリオンいのちのあかし「記憶の庭」

視察4 大屋根リング屋上緑化

視察5 森になる建築 樹木医CPD：申請予定

プログラム

- 12:45 集合
- 13:00 ウーマンズパビリオン屋上庭園
- 13:30 シグネチャーパビリオンいのちのあかし「記憶の庭」
- 14:00 静けさの森
- 14:45 森になる建築
- 15:00 大屋根リング屋上緑化
- 15:45 意見交換会（EXPOサンセットビアテラスにて）
- 17:45 終了

参加費 無料 ただし万博入場チケットは各自でご購入下さい（参考：平日券¥6,000）
※日本樹木医会大阪府支部会員の方は研修参加費用助成対象（助成金額¥2,000）
※EXPOサンセットビアテラスでの意見交換会は各自で精算してください（現金は使えません）

主催 （一社）日本樹木医会大阪府支部

共催 NPOおおさか緑と樹木の診断協会



視察予定場所

視察１ 静けさの森

大阪・関西万博の中央に位置し「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマを自然と共存するアートにした体験の場。静けさの森を構成する樹木約1500本のうち約900本は大阪府内の公園から移植し、そのうち約700本は大阪府吹田市にある万博記念公園から運ばれた。

視察２ ウーマンズパビリオン屋上庭園

景観デザイナーの萩野寿也による地元・大阪の樹木を使い日本の四季をテーマに植栽を計画したガーデン。空との一体感が感じられる開放的な場所。植栽樹木は万博終了後、大阪の山々に返される。

視察３ シグネチャーパビリオンいのちのあかし「記憶の庭」

「記憶の庭」は、風にゆられる植物に癒される「いのちの草原」、木々の隙間からのやさしい光に包まれる「いのちの木立」、静かに水が湧き出しイチョウの苗木が育つ「いのちの泉」の3つのエリアで構成され、3つのエリアそれぞれには奈良や京都に自生する植物、廃校舎の壁に茂っていたツタ、伐採されるはずだった校舎脇のイチョウの木などが大切に養生して移植されている。

視察４ 大屋根リング屋上緑化

世界最大の木造建築物である大屋根リングの緑化面積は34,216m²。屋上のランドスケープデザインは、リングを大きな時計に見立て、咲く花によって季節の移ろいを体感できる風景をつくることを目指し、リング全体に大きくうねる流れのある空間構造をベースにグラデーショナルに変化する緑を配植することで見る角度によって多彩な風景が展開する計画とされている。

視察５ 森になる建築

植物由来の生分解性樹脂を材料とした3Dプリンターでつくられた建物。万博では来場者が休憩に使える仮設建築物として提供されている。建物表面には子どもたちがつくった手すきの紙（種入り）が貼られ植物が順調に芽吹いている。建物は万博での使命が終われば微生物に分解されて土に還りやがて森になるという。